

## 札幌市のエコドライブ関連事業について（H23～R 元年度の概要）

札幌市では、エコドライブの定着と実践を目指し、以下の事業を実施しました。

これら事業のCO2削減効果は、H23年度からR元年度までの9年間で6,472トン、一般乗用車2,942台分の年間CO2排出量相当であった。

### 1 エコドライブ活動サポートプロジェクト事業（H23～R 元）

事業者を対象に、各事業所でのエコドライブ推進体制を構築するため、研修会や運転実技講習などの各種講習会の実施、運転診断機材の貸出等の活動支援を行う事業である。

#### (1) 事業概要

- ・ 運転診断機器の貸出 : シガーソケットに取り付けて得た自動車の運行データから、運転者の運転のクセ、粗さなどを可視化できる機器で、従業員、事業所ごとのエコドライブ実施状況を把握、指導を行うもの。  
令和元年度は各社に2か月間貸し出し、運転評価・診断を含めた支援を行う。



- ・ 社内研修会の実施 : 従業員に対し、エコドライブの手法や効果、実施意義などについて解説する。
- ・ 指導者養成講習会の開催 : 社内のエコドライブ推進者を対象に、エコドライブの基本的知識、指導方法について実技、座学にて習得し、JAFより指導者として認定される講習。



- ・ 運転講習会の開催 : 従業員を対象に、エコドライブの手法や効果、実施意義などを実技、座学にて習得する講習。
- ・ エコドライブ大会の開催 : 各事業者の従業員や、一般市民がエコドライブ技術を競い合い、自己の運転を見直し、さらに取組を深める競技大会（詳細は別掲）。
- ・ 活動報告会の開催 : 事業参加者が、自らの活動を振り返り、活動内容、成果を発表、専門家アドバイスを受ける報告会。



#### (2) 成果

- ・ 燃費の向上 : 平均 4.0% 向上
- ・ CO2 排出量の削減効果 : 878 トン
- ・ 事故件数の減少（ほとんどの企業で期間中事故ゼロ）、従業員の意識向上

## 2 エコドライブ効果体験会 (H24～R 元)

運転シミュレーターにより、エコドライブの手法、CO2削減効果及び燃費向上効果を体感する講習会。市内大型商業施設やイベント会場等で開催。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	累計
体験人数	670 人	678 人	712 人	620 人	634 人	567 人	344 人	371 人	4,596 人
CO2削減効果	428 トン	333 トン	602 トン	425 トン	656 トン	682 トン	486 トン	423 トン	4,035 トン



## 3 アイドリングストップ装置等購入補助制度 (H23～H26)

事業者が購入するアイドリングストップ装置又はその機能内蔵車両に対し補助。補助額：上限1万円/台。H11年度以前登録車の廃車を伴う場合、上限2万円/台。

	H23	H24	H25	H26	累計
補助台数	19 台	43 台	50 台	41 台	153 台
CO2削減効果	238 トン	562 トン	407 トン	352 トン	1,559 トン

## 4 さっぽろエコドライブ大会 (H23～H29)

実際に車両を運転し、運転の荒さや速度ムラ、燃費の良さなどによって、エコドライブの技術を競いあう大会。次世代自動車の試乗会などのイベントも各種併催。

	H25	H26	H27	H28	H29
参加者数	138 人	118 人	82 人	96 人	86 人
会場	東部水再生プラザ	〃	〃	〃	〃



## 5 自動車排出ガス・排気騒音街頭指導 (従前より継続実施)

北海道運輸局等との共催により、通行車両を呼び止め、車両の整備状況、排気ガス等の確認、改善指導を行う。

実施場所：石山緑地、札幌競馬場、屯田西公園、百合が原公園等

検査台数：H23 380 台、H24 382 台、H25 559 台、H26 400 台、H27 145 台、H28 未実施、H29 195 台



## 6 安全運転管理者等講習でのエコドライブ講習 (H16～R 元)

北海道警察主催の法定研修である安全運転管理者等講習にて、参加事業所に対し、社内でのエコドライブ活動のコツなどを講話。

啓発事業所数：H23 6,295 事業所、H24 6,359 事業所、H25 6,495 事業所、  
H26 6,649 事業所、H27 6,717 事業所、H28 6,338 事業所  
H29 6,122 事業所、H30 7,270 事業所、R 元 6,604 事業所